

# 南部の 火祭り

8月15日(水)、富士川河川敷をメイン会場に南部の火祭りが開催され、およそ4万2千人の来場者が訪れました。メイン会場では屋台の出店、森林組合による無料のイス作り体験、投げ松明の疑似体験が行われ多くの来場者で賑わいました。

辺りが徐々に薄暗くなり始め、会場が賑わってくる頃、開会式、佐野町長による開会宣言が行われ、ステージでの、「南部火祭り太鼓」の迫力あるパフォーマンスを皮切りに、「投げ松明」、「灯笼流し」が行われ、僧侶の読経のなか、高さ6m以上にものなる「大松明」



今年はきれいに見えました



火祭り太鼓



投げたいまつ



大たいまつ

に点火され、夜8時、富士川原に静寂が戻ると、百八つのかがり火が一斉に燃え上がり、川原はもろろんのこと、山や空も真赤に染めて、炎は川面に映り、幻想的な空間を作りだし、炎が揺らめくその光景は多くの観客を魅了しました。

南部の火祭りといえば全身に響き渡る2尺玉ノ空いっばいに華開くと会場は歓声と拍手に包まれました。

火祭りにご協力いただいた皆様、ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

## イングリッシュキャンプ

8月2日(水)～3日(金)、静岡県立朝霧野外活動センターでイングリッシュキャンプが行われました。

このキャンプでは、外国人の先生たちと英会話で過ごし、様々な活動から英語はコミュニケーションの道具であることを体験します。

当日は、小学校5・6年生30名が参加し、オリエンテーリングやジャンボカルタ等のゲーム、カレー作りを英語で体験しました。



ゲームもカレー作りも英語だと難しい



very very happy!

## いざというときの動き・心構え

### 南部町地震防災訓練

9月2日(日)、南部町地震防災訓練が実施されました。

各自主防災会毎に初期消火訓練・避難所運営訓練・資機材利用訓練等が行われました。元宿区では、峡南消防本部中部消防署南分署の協力を得て、心肺蘇生法及びAED訓練、万沢診療所ではトリアージ訓練等の実践的な訓練



心肺蘇生法及びAED訓練



が実施されました。  
実践的な訓練を積み重ねることで、地域防災力の向上を図り、「自助」・「共助（協助）」・「公助」に、より一層の理解と連携を深め、一人ひとりの防災意識の高揚と、災害時の応急対策が速やかに行えるよう、訓練だけでなく日頃から防災・減災体制を整えていただければと思います。



避難所運営訓練



トリアージ訓練

## 「やぶ医者大賞」受賞！

8月25日(木)、今年で第5回となる兵庫県養父市主催の「やぶ医者大賞」を南部診療所の市川医師が受賞し、養父市ビバホールで開催された、表彰式ならびに記念講演に出席しました。

この大賞は、へき地医療に尽力する医師に贈られる名誉な賞になります。市川医師は無医村での診療経験もあり、医療連携の重要性を考え「南部町在宅医療連携協議会」を立ち上げてきました。

南部診療所では小児科・内科を中心に、認知症対策にも力を尽くしていることが認められ受賞となりました。

講演会では「スマイルなんぶ！スマイルやぶ！！スマイルにっほん!!!」とラップ調で自己紹介するなど笑いを



やぶ医者大賞

まじえながら、在宅医療・医療連携の重要性と南部町の医療の現状と課題について講演されました。

※やぶ医者とは

「やぶ医者」の語源は養父市にいた名医であるという説があり「養父医者」は名医のブランドでした。

しかし、このブランドを悪用する者が現れ、大した腕もないのに、「自分は養父医者の弟子だ」と口先だけの医者が続出した結果、「養父医者」の名声は地に落ち、いつしか「藪」の字があてられ、ヘタな医者を意味するようになったといわれています。



受賞おめでとうございます